

## 本格的な災害復旧工事に着手

2月22日、役場第2会議室で昨年発生した台風14号災害復旧工事の入札が行われました。台風14号関連の入札は今回が初めてで、公共土木・林業・農業施設災害の一部、62件の発注工事に対し、県内の指名業者48社（うち村内29社）が参加。すべて落札となりました。今回の発注総額は18億2千5百834千円で、今年3月から本格的な災害復旧工事が始まります。

なお、残りの復旧工事も3月末までにはほとんどが発注される予定となっています。



▲すべて落札。台風14号災害復旧工事の入札会場。

## 春はもうすぐ「梅の花」開花

今年の冬が寒かったせいか、2月下旬になってようやく梅の花が開花しました。例年より少し遅めの開花ですが、同時に村内の寒さも和らいで日照時間も長くなるなど春が感じられるようになってきました。

国道327号沿いにある那須末廣さん宅（新石原）の庭先では、道路からも見える大きな1本の梅の木が紅白2種類の花を咲かせました。いち早く春の到来を告げる温かな色は、通行する多くのドライバーの目を楽しませています。



▲紅白2種類の梅の花が出迎えている那須末廣さん宅。

## 子育てを楽しもう！

2月22日、保健センター「すこやか館」で村内の親子20人が参加して、すくすく子育て学級が行われました。今回の内容は「絵が飛び出すカード作り」で、開けると絵やメッセージが飛び出す誕生日カードを学びながら作成。それぞれ温かみのある個性豊かな作品が出来上がり、子どもたちも大喜びでした。また、「小麦粉粘土遊び」や「縫い遊び」など各家庭で手軽に子どもと一緒にできる遊びの紹介もありました。

お母さんたちが作成する間、子育てボランティアとして今回は尾前地区婦人会が協力。安心して参加することができたようです。同教室は毎月開催されていますので、交流を図るためにもぜひ参加してください。



▲参加した子どもたちはいろんな手遊びに夢中の表情。

## 特産品コンテスト

2月26日、村開発センターでむらおこしグループ連絡協議会（椎葉千保会長）主催の特産品コンテストが行われました。毎年恒例となった同コンテストには、加工品の部、料理の部の2部門に村内のむらおこしグループなどから41品の応募がありました。専門家や村内の旅館民宿組合など7人の審査員が試食しながら、味・外観・食材・獨創性などについて審査。結果、次の作品が選ばれ、同日表彰されました。

### 【加工品部門】

■最優秀賞 「平家ろーまん」 菓子加工グループ秋桜（桑ノ木原）

■優秀賞 「椎茸と山椒の佃煮」 グループひえつき（尾八重）

### 【料理部門】

■最優秀賞 「しいたけフライ」 那須義行さん（十根川）

■優秀賞 「そば粉のロールケーキ」 右田圭之さん（川ノ口）



▲料理部門の最優秀賞「しいたけフライ」。椎茸の中に豆腐が入っていて好評でした。